



## 第21回常任理事会

**日時** 平成31年1月8日(火) 18:30～18:56  
**場所** 北海道医師会館9階・理事会室  
**出席者** 長瀬会長、深澤・藤原・小熊各副会長、北野・三戸・目黒・橋本・山科・岡部・伊藤・生駒・後藤・笹本・櫻井・青木各常任理事、藤瀬・篠島両監事  
 (事務局：安達局長ほか11名)

### 協議事項

**第1号 北海道医師会代議員および予備代議員の定数に関する件(三戸常任理事)**

当会代議員の定数は定款施行規則第44条「定数基準」および第45条「毎年12月末日現在の会員数」の規定に基づき定められているが、今回は、恵庭市医師会が1名増員となるため、代議員定数の総数は1名増の117名とすることと決定。

**第2号 日本医師会生涯教育講座等の認定に関する件(櫻井常任理事)**

申請のあった日医生涯教育講座16件を承認することと決定。

### 報告事項

1. 中央情勢報告(笹本常任理事)

「新経済・財政再生計画 改革工程表2018」について

昨年12月20日に経済財政諮問会議(議長＝安倍晋三首相)で取りまとめられた新経済・財政再生計画 改革工程表2018の中から、主に社会保障分野に関わる4つの政策体系(予防・健康づくりの推進、多様な就労・社会参加、医療・福祉サービス改革、給付と負担の見直し)について小職より解説した。

## 第22回常任理事会

**日時** 平成31年1月22日(火) 18:00～19:25  
**場所** 北海道医師会館9階・理事会室  
**出席者** 長瀬会長、深澤・藤原・小熊各副会長、

北野・三戸・目黒・藤井・橋本・水谷・山科・岡部・伊藤・生駒・笹本各常任理事、津田・藤瀬・篠島各監事  
 (事務局：安達局長ほか12名)

### 協議事項

**第1号 平成31年度事業計画に関する件**

(深澤副会長)

平成31年度の事業計画(案)を承認し、次回理事会に諮り、第153回臨時時代議員会に報告することと決定。

**第2号 平成31年度予算に関する件(三戸常任理事)**

平成31年度の予算(案)を承認し、次回理事会に諮り、第153回臨時時代議員会に報告することと決定。

**第3号 日本医師会生涯教育講座等の認定に関する件(生駒常任理事)**

申請のあった日医生涯教育講座13件を承認することと決定。

**第4号 第153回臨時時代議員会[3月17日(日)]の開催に関する件(三戸常任理事)**

3月17日(日)午前10時から当会館8階会議室において、第153回北海道医師会臨時時代議員会を開催することとその提出議題を決定。

**第5号 その他**

(1) 2月行事予定に関する件(事務局)

### 報告事項

1. 都道府県医師会長協議会[1月15日(火)]について(深澤副会長)

各医師会ならびに日医より提出された10題について、協議がなされた。医師の働き方改革については、将来的に医師の時間外労働規制は過労死ラインにおさまるような水準を保ち、労働時間を縮減していきたいとの答弁がなされた。その他、2019年10連休中の医療提供体制の確保、公的医療機関における控除対象外消費税の問題等について協議がなされた。

2. 日医理事会報告(長瀬会長)

第16回医師の働き方改革に関する検討会の件、第27回厚生科学審議会予防接種・ワクチン分科会予防接種基本方針部会の件等の報告の後、第144回日本医師会臨時時代議員会開催の件等を協議した。理事会の詳細については日医ニュース等を参照されたい。なお、事前の理事打合せにおいて、遠隔地への血液製剤供給体制について、地域医療介護総合確保基金の有効活用に係る要望の経過報告について等の意見交換を行った。

3. 外部各委員会報告

(1) 第1回北海道衛生検査所精度管理専門委員会[1月10日(木)]について(北野常任理事)

昨年度の衛生検査所立入検査実施結果等および外部精度管理調査(ブラインド調査)結果等について報告があった。その後、本年度の実施計画(案)について協議を行った。

(2) 石狩教育局「子供の自殺が起きたときの背景

調査に係る意見聴取会」会議〔1月16日(水)〕  
について(三戸常任理事)

生徒の自殺または自殺が疑われる死亡案件について説明があり、委員の小職、大学教授、社会福祉士、弁護士による意見交換を行った。

(3) 北海道地区原子力災害医療ネットワーク協議会〔1月16日(水)〕について(目黒常任理事)

昨年5月20日、泊村で行った安定ヨウ素剤に係る住民説明会の結果と合わせて、10月22日、ニセコ町等で行った北海道原子力防災訓練および原子力災害医療訓練の実施結果について事務局から報告があった。その後、弘前大学高度被ばく医療支援センター、原子力災害医療・総合支援センターの取り組みや北海道の原子力災害時における医療体制等について説明があった。

(4) 第2回北海道がん対策基金運営委員会〔1月17日(木)〕について(藤原副会長)

本基金の昨年12月末現在の積立状況および自

動販売機や募金箱の設置等の活動状況について報告が行われた。その後、来年度の事業計画(案)と収支予算書(案)について説明があり、助成金の応募資格に市民を対象としたがん対策普及啓発などの事業を実施する「市町村」を追加することとした。また、原資確保のため、新たな商品の開拓や企業・団体への大口寄付の依頼等を行うこととした。

4. 中央情勢報告(笹本常任理事)

「平成31年度予算政府案」について

昨年12月21日に閣議決定された「平成31年度予算政府案」では、一般会計が総額101兆4,564億円となり、初めて100兆円を超えた。そのうち社会保障分野は、過去最大の34兆587億円となったが、高齢化に伴う社会保障費の伸び(自然増)については4,768億円となり、概算要求段階に比べ1,200億円以上の圧縮となったこと等について小職より解説した。

## 北海道医師会は、 北海道に在住するすべての医師が利用できる 女性医師等支援事業を 推進しています。

北海道医師会は、医師の育児支援や仕事と家庭の両立を支援するために現役の先輩医師による相談窓口を開設しています。この窓口は、北海道に在住するすべての医師が利用できます。詳しくは、下記専用ホームページをご覧ください。

男性医師の  
アクセス歓迎



### 相談窓口

ご相談内容に応じ、先輩医師が適切にアドバイス(電話・FAX・メール)

### 育児支援

保護者に代わる送迎、病児・病児以外の緊急預かりの手配など

### 復職研修支援

復職を目指す女性医師等に対し、身近な地域の医療機関で復職研修を実施

### 介護支援

介護支援・情報提供の整備

## 北海道医師会 女性医師等支援相談窓口

●詳しくはこちらをご覧ください「女性医師等支援相談窓口」専用ホームページ <http://www.hokkaido.med.or.jp/josei-dr-shien/>

●ご相談はこちらへ ☎ 0120-112-500 ■FAX 011-231-7272 ✉ josei-dr-shien@m.dou.jp

北海道医師会 〒060-8627 札幌市中央区大通西6丁目 <http://www.hokkaido.med.or.jp/>